

# CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2019年4月22日発行

編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6

<http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



## 中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.86

### <子どもたちのセルフ・エスティームを上げよう！>

読者の皆さん、新年度募集はどうだったでしょうか。ちょっとひと段落したので、今回は、趣向を変えて、私が経験した学園改革の一部について書きたいと思います。まずは、その前に、私の基本的なスタンスを共有したいと思います。

私は、子どもとのコミュニケーションを通じて、子どものセルフ・エスティームを高めることが非常に重要だと考えています。セルフ・エスティームとは、自分が他人から重要だと思われると実感することです。つまり、親や先生や親友に、自分が重要な存在だと思われると実感すること。そして、その実感が自信（自分の可能性を信じること）を強化し、新しいこと、やらなければならないことにやる気を持って取り組むようになる、そのような心のエネルギーのことをセルフ・エスティームと定義しています。

それでは、授業改革の一端を紹介します。その学校は、指導困難校と言われる私立高校です。その学校の生徒は、朝からほとんどのクラスで睡眠学習をしていました。1限目の授業から生徒はみんな寝ているのです。初めて授業を見学した時は、愕然としたことを覚えています。

どの先生の授業も、生徒と向き合っていないのです。低学力層の生徒（入学してくる生徒の偏差値がほとんど40以下、成績で言えば、18/45という内申です）に対して、自分の授業における固定観念を押し付け、聞かないで寝ている生徒が悪いのだと言わんばかりに無視をしながら、授業をしているのです。しかし、ほとんどの生徒が寝ているのです。生徒が悪いわけではありません。第三者から見れば、先生が生徒を寝かせているように見えるのですから。

ということで、授業改革をスタートしました。夏休みを利用して講習を企画し、私が授業の見本を見せることから始めました。

私の授業は、高校1年生の国語です。高校1年生の夏に、センター試験の国語の評論を100分間休みなしに読解するという授業です。この設定が非常に難しい設定になっているのが、皆さんもお分かりになると思います。なにせ、偏差値が40以下の生徒ですから。教師全員が、すぐに寝るだろうと思っていたそうです。それも朝一の時間割で、5日連続で。

この授業のミッションは、この5日間で、評論の問題を解けるようにする。それも誰一人寝ることなく、です。こんな難しい設定にしたのは、そうでもしない限り、全教師が自分の授業に気づかないと思ったからです。工夫が足りないんだと。

例えば、文章の中に出てきた「絶対的」という言葉の説明では、生徒を前に引っ張り出して、身長を比べて、比べる相手によって、背の高い低いが変わるのを「相対的」、変わらないのを「絶対的」、そんな風に教えていったのです。生徒が授業中に考えるか、体を使うか、意見を表明するか、そのような時間を作りながら、問題を解かせて行きました。発問を常時しながら、問題を読解していくわけです。承認活動を徹底して行って。

そして、5日間の講習が経ちました。2クラスとも、最終日には、問一の漢字を除いて、ほとんどの生徒が全問正解になりました。漢字は中学時代にほとんどの生徒がまじめにやっていないのでできませんでした。

これで、彼らは国語の授業が少し好きになったと言ってくれました（少しかよ！と思いましたが、贅沢は言えません）。発問をすれば、彼らは答えます。その答えがあていれば、素直に承認を、間違っていれば、アドバイスを与え、正解に近づけ、生徒の理解を助け、「もう一歩でわかるところまで来たね！」と励ます。このようなコミュニケーションで生徒を勇気づけました。この過程で、この生徒たちは、今まで寝ていた授業を寝なくてよいものだと少し理解できたようです。

この学園改革では、授業改革の他に、挨拶運動と遅刻撲滅運動、そして、万引き撲滅運動に取り組みました。

その中で、万引き撲滅運動の方針について挙げてみます。3つです。

1. 生徒のセルフ・エスティームを高めて、生徒と教師の信頼関係を強いものにする
2. 生徒の夢や目標を引き出して、その目標達成のプロセスを定期的に確認する
3. 万引き事件を起こしたら、徹底的に自分と向き合う時間を設ける

この3つの方針の1と2は、全体のことでありますが、3は、万引きを起こした生徒と教師が向き合って、しっかり話をします。そして、最後は、生徒が一人になって、数時間をかけて、万引きをやった経緯やその時の気持ち、そして、万引きを起こした今の気持ちを徹底的に書かせました。何回か、繰り返す生徒もいましたが、徐々に万引き件数が減っていきました。

一連の学園改革は、①自他の関係を意識する②自分が他人から重要だと思われるという実感を持ってもらう③生徒が全体に貢献しているという実感を持ってもらう、この3つを中心にして進めたわけですが、結局、生徒との関係性の強化が、生徒の行動を改善させたようです。

この改革を通して、実は、進学実績も向上しました。創立80周年にして初めて、その高校は、国公立大学の合格者を3名出しました。

生徒のセルフ・エスティームを高めることを通して、学園は変貌を遂げていきました。

学校、学習塾を問わず、生徒のセルフ・エスティームを高めることが非常に重要なことだと私は思います。

合資会社マネジメント・ブレイン・アソシエイツ  
教育コンサルタント 中土井鉄信

#### 【編集後記】

##### 2019年のMBAセミナー

「各有名学習塾コンサルタントからの地域一番塾になるための提言」

5/26 東京 6/9 大阪 6/23 福岡 お申し込み受付中です！

【参加費（昼食付・税別）】一般参加…10,000円

メルマガ「塾経営の戦略・戦術エキスTRA」読者…7,000円

※MBA塾経営革新メンバーの方は特別価格でご案内します。

★くわしくはこちらから★ <https://management-brain.net/mbaseminar02/>

##### 中土井流の授業術を徹底伝授するストーリーミング動画

「生徒のやる気を引き出す教師の授業スキル」好評発売中！

「受容」「共感」「承認」をキーワードに、授業で興味や驚き、感動を与え、生徒のやる気を引き出す方法をお伝えします。

★詳しい内容紹介・ご購入はこちらから★ <http://management-brain.com/lp2>

# 数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.50

「世界大学ランキング」というのがあるのをご存じでしょうか。世界の大学を順位付けしたもので、政府や企業や出版社などいろいろな機関から発表されていますが、「QS世界大学ランキング」(QS/英国の大学評価機関「クアクアレリ・シモンズ社」)、「THE世界大学ランキング」(THE-TR/英国の教育専門週刊誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション」)、「世界大学学術ランキング」(ARWU/中国の「上海交通大学」)、「CWUR世界大学ランキング」(CWUR/サウジアラビアの「世界大学ランキングセンター」)などがとりわけ権威があると言われています。

このうちの1つ、THE(タイムズ・ハイアー・エデュケーション)がこの3月、昨年に引き続いて「THE世界大学ランキング日本版2019」を発表しました。ベネッセコーポレーションの協力を得て作成したものだそうで、2019版は3回目のランキング発表に当たります。

世界版と日本版との大きな違いは、前者が大学の「研究力」に着目して順位をつけているのに対し、後者は「教育力」に着目して順位づけをしている点だそうです。教育力を測る指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野(16項目)に分かれているようですが、まずは総合順位から紹介しましょう。

## ●総合順位

順位	大学名	順位	大学名
1位	京大	11位	ICU
2位	東大	12位	広島大
3位	東北大	13位	早稲田大
4位	九大	14位	慶応大
5位	北大	15位	一橋大
同5位	名大	16位	神戸大
7位	東工大	17位	上智大
8位	阪大	18位	金沢大
9位	筑波大	19位	千葉大
10位	国際教養大	20位	東京外語大

トップ10には旧制7帝大と国立の東工大、筑波大、それに公立の国際教養大がランクインしています。国公立の総合トップ10は総合順位と同じですので、以下、私立の総合トップ10も挙げておきましょう。

## ●私立大総合順位(カッコ内は国公立総合での順位)

順位	大学名	順位	大学名
1位	ICU (11)	6位	立命館大 (33)
2位	早稲田大 (13)	7位	神田外語大 (34)
3位	慶応大 (14)	8位	同志社大 (35)
4位	上智大 (17)	9位	東京理科大 (36)
5位	立命館APU (27)	10位	関西学院大 (37)

教育力を測る4分野の指標のうち「教育リソース」は「どれだけ充実した教育が行われている可能性があるか」。学生1人当たりの教員比率など5項目で構成されています。また、「教育充実度」は「どれだけ教育への期待が実現されているか」(入学後の伸長度を高校教員から聞くなど5項目)、「教育成果」は

「どれだけ卒業生が活躍しているか」(企業人事関係者の評判調査など2項目)、「国際性」は「どれだけ国際的な教育環境になっているか」(外国人学生比率など4項目)。それぞれの分野のトップ5を挙げます。

## ●教育リソース

順位	大学名
1位	東大
2位	東京医科歯科大
3位	京大
4位	東北大
5位	浜松医科大

## ●教育充実度

順位	大学名
1位	国際教養大
2位	ICU
3位	筑波大
4位	上智大
5位	立命館APU
同5位	神田外語大

## ●教育成果

順位	大学名
1位	京大
2位	東大
3位	九大
4位	阪大
5位	慶応大

## ●国際性

順位	大学名
1位	国際教養大
2位	ICU
3位	立命館APU
4位	大阪女学院大
5位	東京国際大

分野別になると意外な大学がランクインしてきますね。正直に申し上げると筆者も、「へえ、この大学、こんなにすごい?」という驚きのほうが先に来ました。

ランキングにはエリア別順位も掲載されています。こちらも紹介しておきましょう。

## ●北海道・東北 ●北関東・甲信越 ●首都圏

順位	大学名	大学名	大学名
1位	東北大	筑波大	東大
2位	北大	長岡技術科学大	東工大
3位	国際教養大	新潟大	ICU
4位	会津大	信州大	早稲田大
5位	秋田大	群馬大	慶応大

## ●北陸・東海 ●近畿 ●中国・四国

順位	大学名	大学名	大学名
1位	名大	京大	広島大
2位	金沢大	阪大	岡山大
3位	豊橋技術科学大	神戸大	山口大
4位	豊田工業大	京都工芸繊維大	鳥取大
5位	岐阜大	立命館大	愛媛大

## ●九州・沖縄

順位	大学名
1位	九大
2位	立命館APU
3位	長崎大
4位	福岡女子大
5位	佐賀大

大学受験指導をしていると、どうしても偏差値に目を奪われてしまいます。しかし、本当に重要なのは入り口ではなく出口。目の前にいる塾生に、「どんな力をつけて送り出してくれる大学がいい大学なのか」もしっかりと考えにいられて、指導を進めていきたいものです。

PS・コンサルティング・システム

小林 弘典